

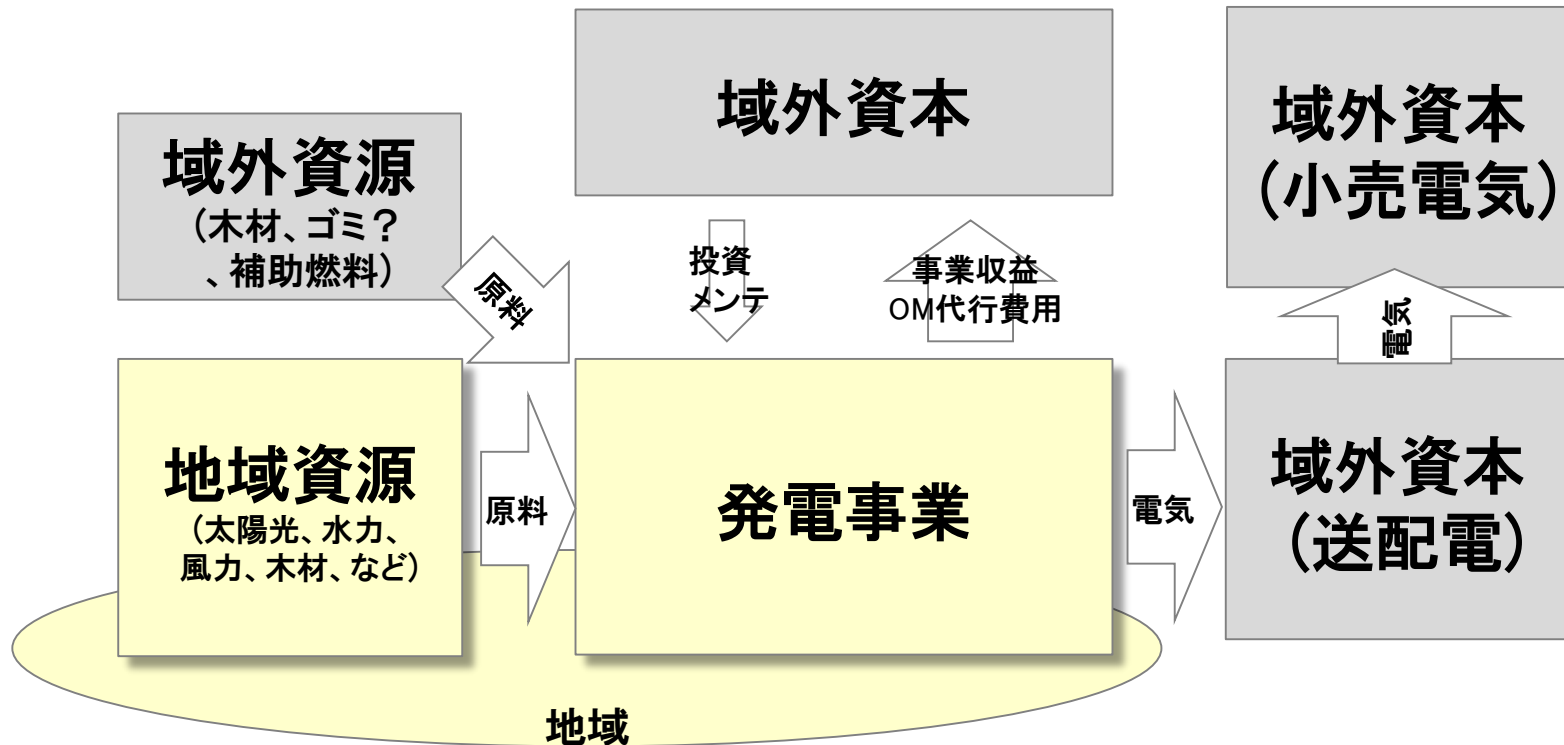
再生可能エネルギー新電力の可能性

2017年10月

一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構
～Share・Open・DIT～

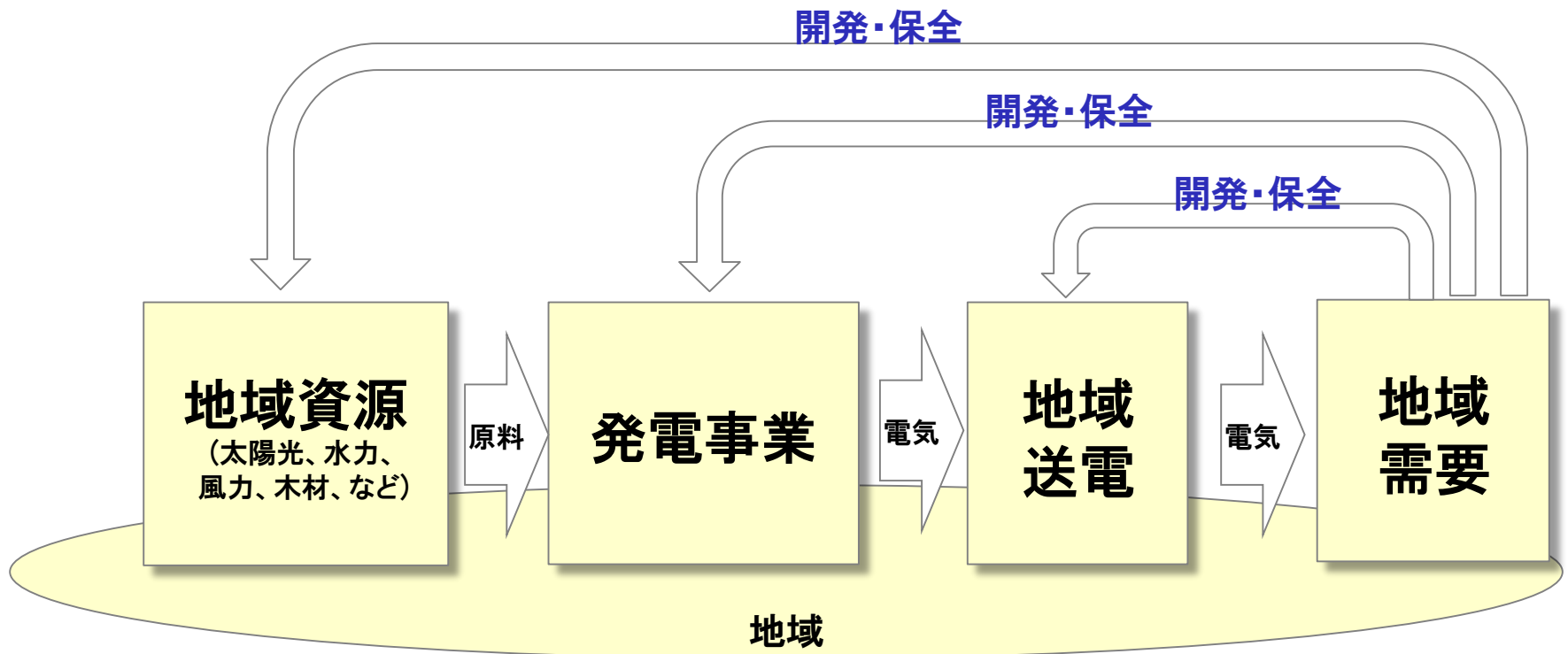
プランテーション型の再エネ発電

FIT制度に則った発電事業投資モデルは、おおよその場合下記のような形になる。



利用者目線の発電インフラのあり方

もし、地産地消を本当にキーワードとするのであれば、発電事業が地域需要のためのインフラとなる。そもそも、発電事業の企画・投資の考えが全て逆転するのではないか。



発電所のあり方比較(極端ではあるが)

電気の製造販売

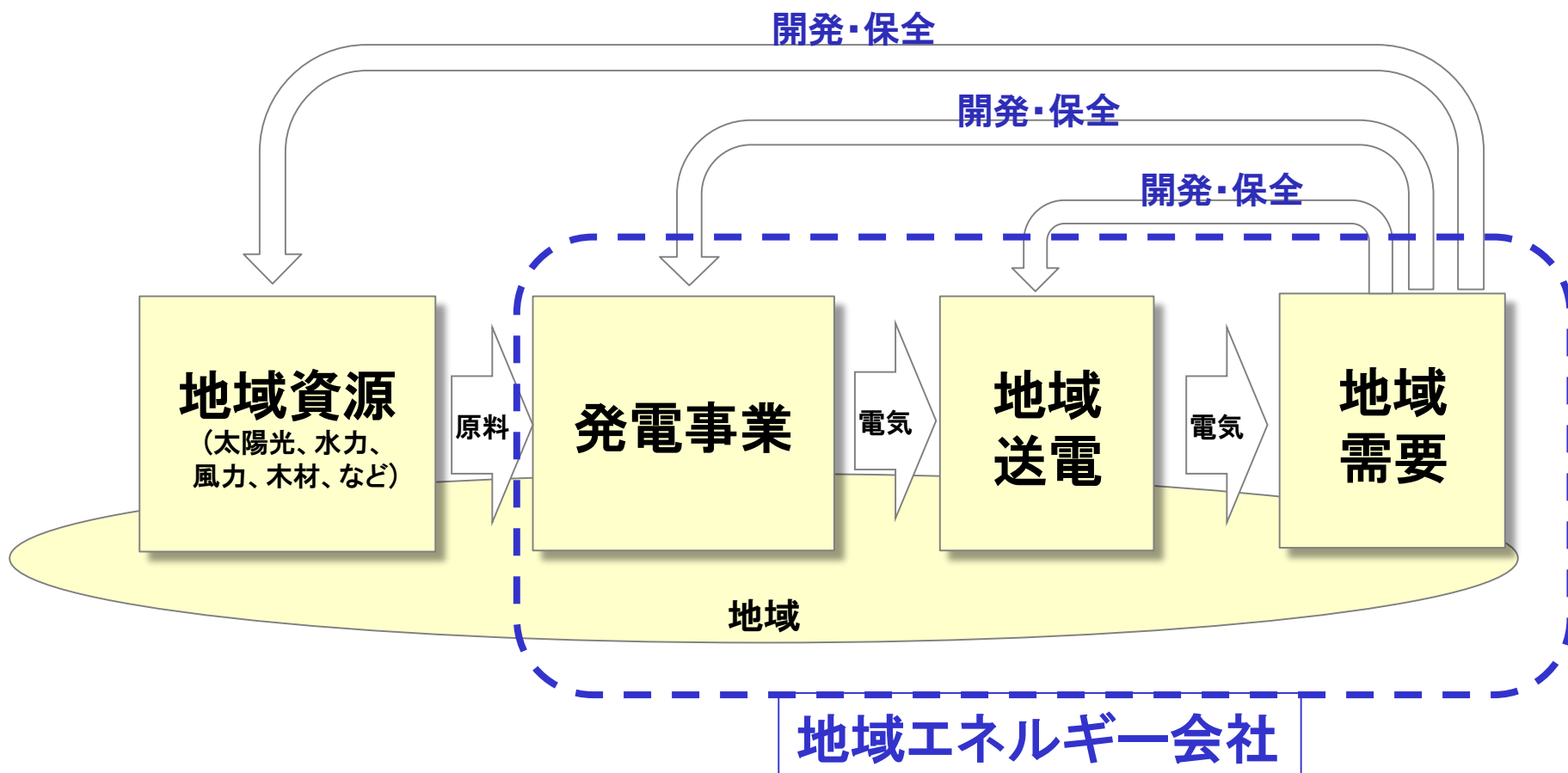
1. 発案者ありき。発電事業ありき。適地探し
2. 次に売電先を探し(FITではここが不要になった)
3. 商売を成立させるため事業規模を巨大化
4. 投資額が増えるので、大規模投資家とストラクチャを構築
5. 地域資源で不足する場合、外からも持ってきて事業成立させる

自身の生活インフラ


1. **地域需要ありき。調達に複数の選択肢。**適地探し
2. 次に売電先を探し(FITではここが不要になった)
3. 商売を成立させるため事業規模を巨大化
4. 投資額が増えるので、大規模投資家とストラクチャを構築
5. 地域資源で不足する場合、外からも持ってきて事業成立させる

一つの解決手法：地域エネルギー会社

地域の需要家が中心となる、地域の地域による地域のためのエネルギー会社を設立し、地域のエネルギープラットフォームになるケースを推奨している。



一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構の目的

“ひと”に魅力ある、強い“しごと”を、“ローカル(まち)”に
= ローカルグッド 

実現のための
3つのメソッド

■ Share

重たい物はシェアしましょう
(投資、システム、機能)

■ Open

ブラックボックスは無くしましょう
(失敗・成功、ノウハウの共有)

■ DIT (Do It Together)

共に作り上げましょう
(地域間連携、相互乗り入れ)

仲間(2017年7月現在 16社)

 <p>須賀川瓦斯株式会社</p>	 <p>荏原環境プラント株式会社</p>	 <p>国際航業株式会社</p>	 <p>一般社団法人 小水力開発支援協会</p>
 <p>株式会社 中海テレビ放送</p>	 <p>鳥取県 米子市</p>	 <p>一般社団法人 東松島みらいとし機構</p>	 <p>宮城県 東松島市</p>
 <p>一般社団法人 日本中小企業経営 支援専門家協会</p>	 <p>一般社団法人 食大学</p>	 <p>ローカルエナジー 株式会社</p>	 <p>子どもたちに誇れるしごとを。 SHIMIZU CORPORATION 清水建設 清水建設</p>
 <p>株式会社 オノブックス</p>	 <p>ローカルでんき株式会社</p>	 <p>株式会社 まち未来製作所</p>	 <p>横浜ウォーター株式会社</p>

一般社団法人ローカルグッド創成支援機構の概要

2017年9月現在

名称	一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構
所在地	〒108-0014 東京都港区芝5丁目26-30 専売ビル6階
設立	平成26年9月3日
設立目的	「地域資源の地産地消」「地域間の取組連携/協調」を推進し、 地域に魅力ある強いビジネスをすることで、地域活性化や地球環境の保全などに資する「地域にいい（Local Good）」取組を支援すること
事業内容	①地域ビジネスの立上推進および運営支援 ②オープンプラットフォームの運営 ③共通インフラの構築、システム、ノウハウの共有
代表理事	大滝 精一(一般社団法人 東松島みらいとし機構 理事長、東北大学大学院経済学研究科教授)
理事	橋本 直子(須賀川瓦斯株式会社 副社長) 加藤 典裕(株式会社中海テレビ放送 代表取締役、ローカルエナジー株式会社 代表取締役) 市原 昭(荏原環境プラント株式会社 代表取締役社長、株式会社荏原製作所 執行役常務)
監事	中島 大(一般社団法人 小水力開発支援協会 代表理事)
正会員(社員)	須賀川瓦斯株式会社 一般社団法人 東松島みらいとし機構 株式会社中海テレビ放送/ローカルエナジー株式会社 株式会社オノプロックス ローカルでんき株式会社 横浜ウォーター株式会社
賛助会員 (50音順)	東松島市、米子市 荏原環境プラント株式会社、国際航業株式会社、清水建設株式会社、一般社団法人 小水力開発支援協会、 一般社団法人 日本中小企業経営支援専門家協会、一般社団法人 日本食大学、株式会社まち未来製作所

「ローカルグッド創成支援機構」の構造

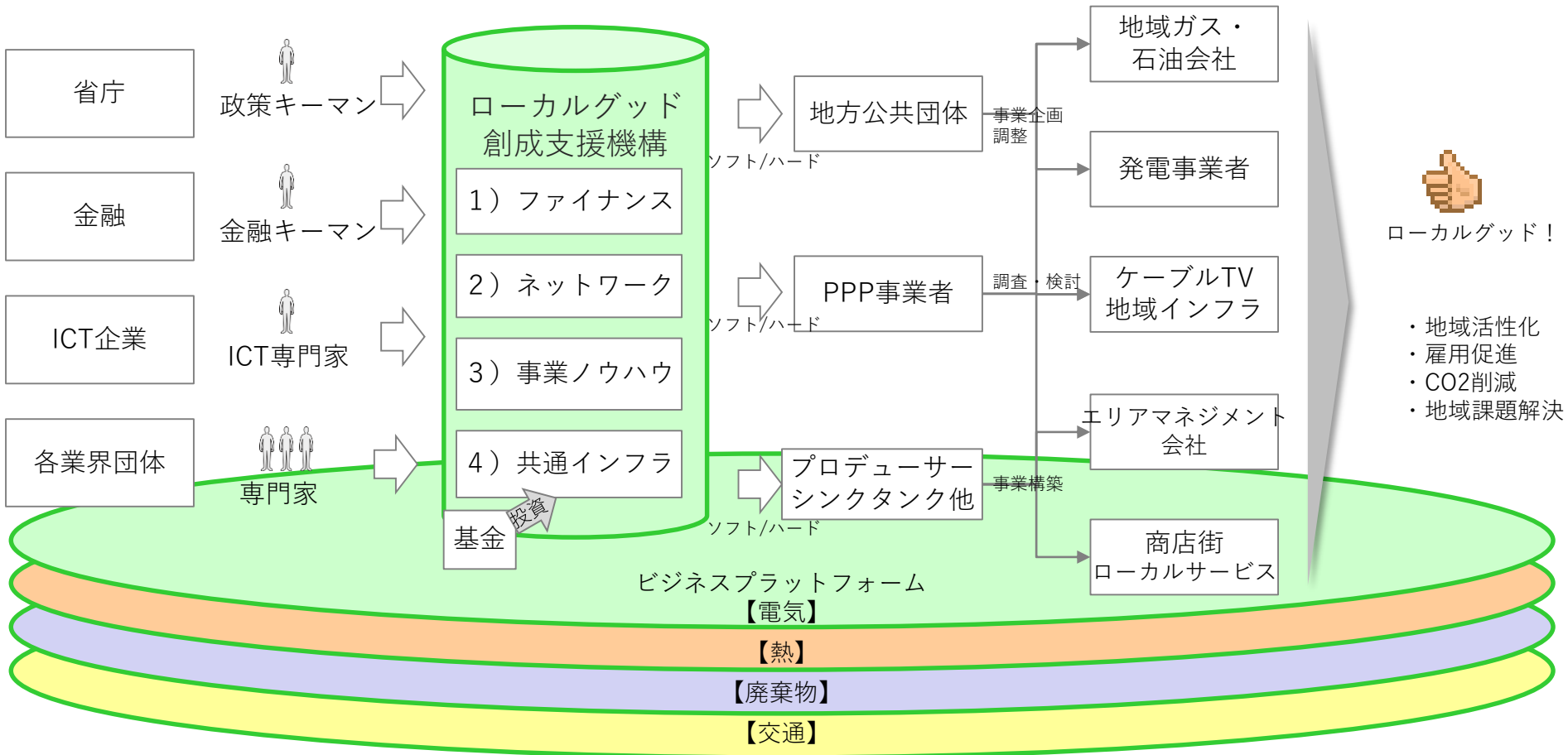
ローカルグッド
サポーター

ローカルツール

ローカルグッド
アグリゲーター

ローカルプレイヤー

結果（狙い）



地域新電力インキュベーションプログラム

複数の地域新電力が自立・分散・協調するビジネスプラットフォームを作成し、地域に有益な強いビジネスに育成するインキュベーションプログラムを実施します。

■ Share : 重たい物はシェアしましょう

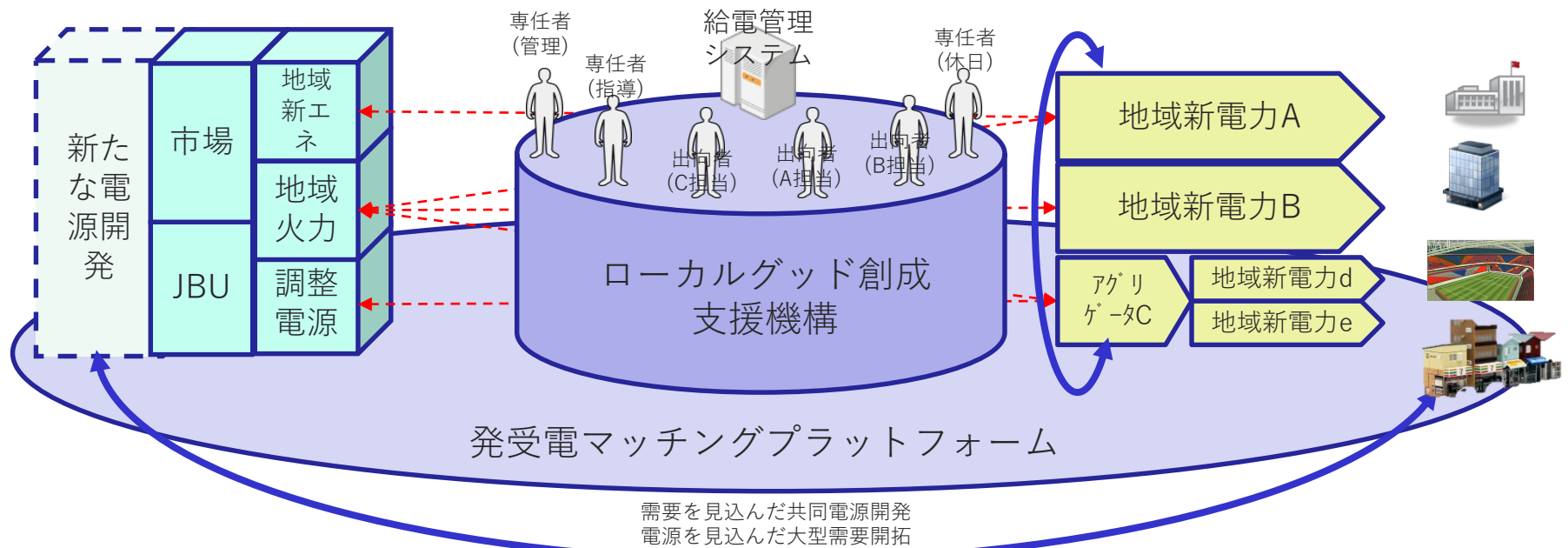
- ①システムのシェア(需給管理、CIS、サーバー、センサ)
- ②機能のシェア(コールセンター、発電予測、営業、企画)
- ③電気のシェア(発電融通、共同開発)

■ Open : ブラックボックスは無くしましょう

- ①ノウハウの提供(エネルギーマネジメントの教育)
- ②公平な電力融通(顔の見える関係)

■ DIT(Do It Together) : 共に作り上げましょう

☆インキュベーションプログラム : 全面受託ではない



プログラムの概要

ローカルプレイヤーは地元雇用でビジネスを内製化し、ノウハウを蓄積し、かつ大手同様のコスト競争力を得ることができます。

地域新電力IPの主な機能(2017年4月時点)

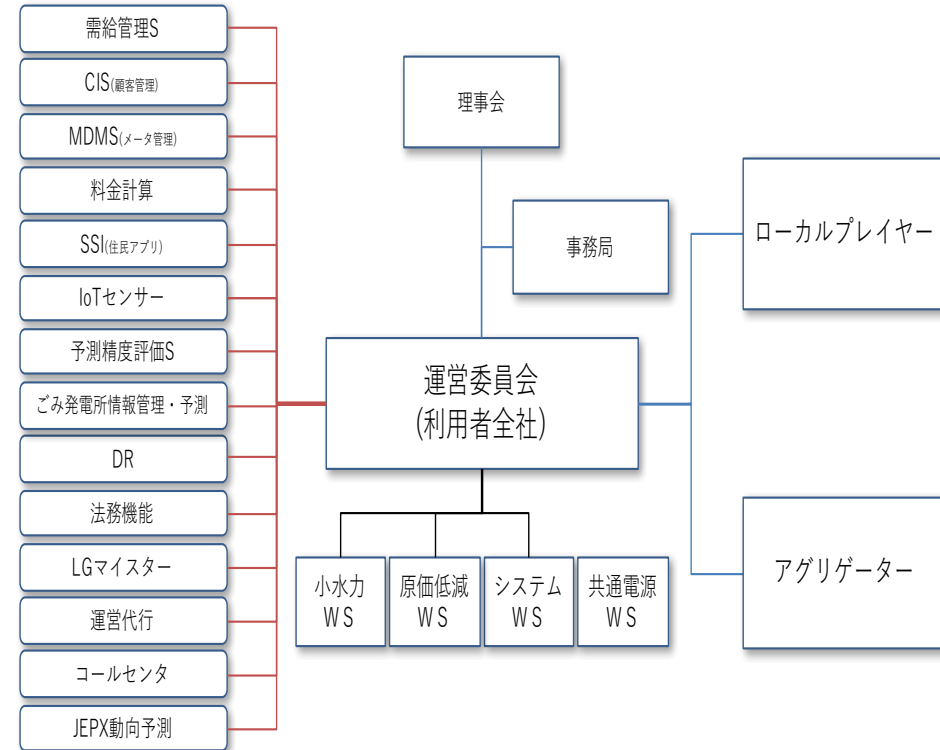
会員向けソリューションラック

- ① 需給管理の無料トレーニング**
 未経験の地元雇用者に対し、需給管理のトレーニングを実施。ローカルプレイヤーに限定、ノウハウを無料でフルオープン。
- ② 強力なソリューションを安価にシェア**
 需給管理システム、CIS、料金計算システム等をシェア。1社で抱えられない強力な専門顧問弁護士やサービスをシェア。
- ③ 自社開発のソリューションは他地域にシェア**
 自家利用に開発したソリューションも他地域に水平展開。営業・管理のコストを大幅にダウンし、投資回収を早める。
- ④ 大型ロットの発電所から電力を共同購買**
 1社では購入しにくい大型ロットの発電を共同購入しシェア。会員の大企業がハブとなり、ローカルプレイヤーの支払サイトを緩和(月末締、翌月払)
- ⑤ LGマイスターによるノウハウ展開**
 会員の専門コンサルをアグリゲーターの紹介だけでなく、有能なローカル人材をマイスターとしてプロジェクト紹介。

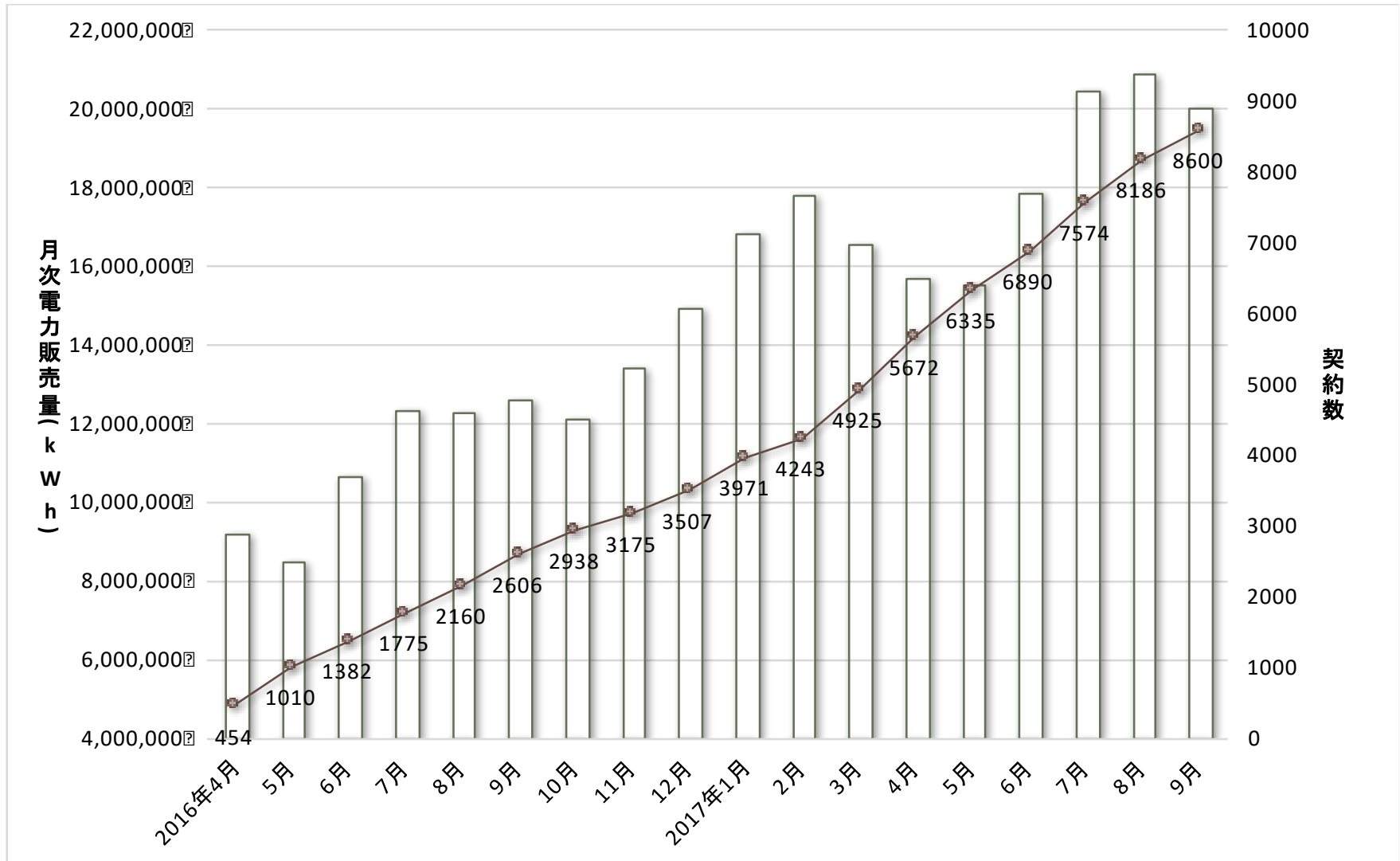
ソリューションラック

運営ストラクチャ

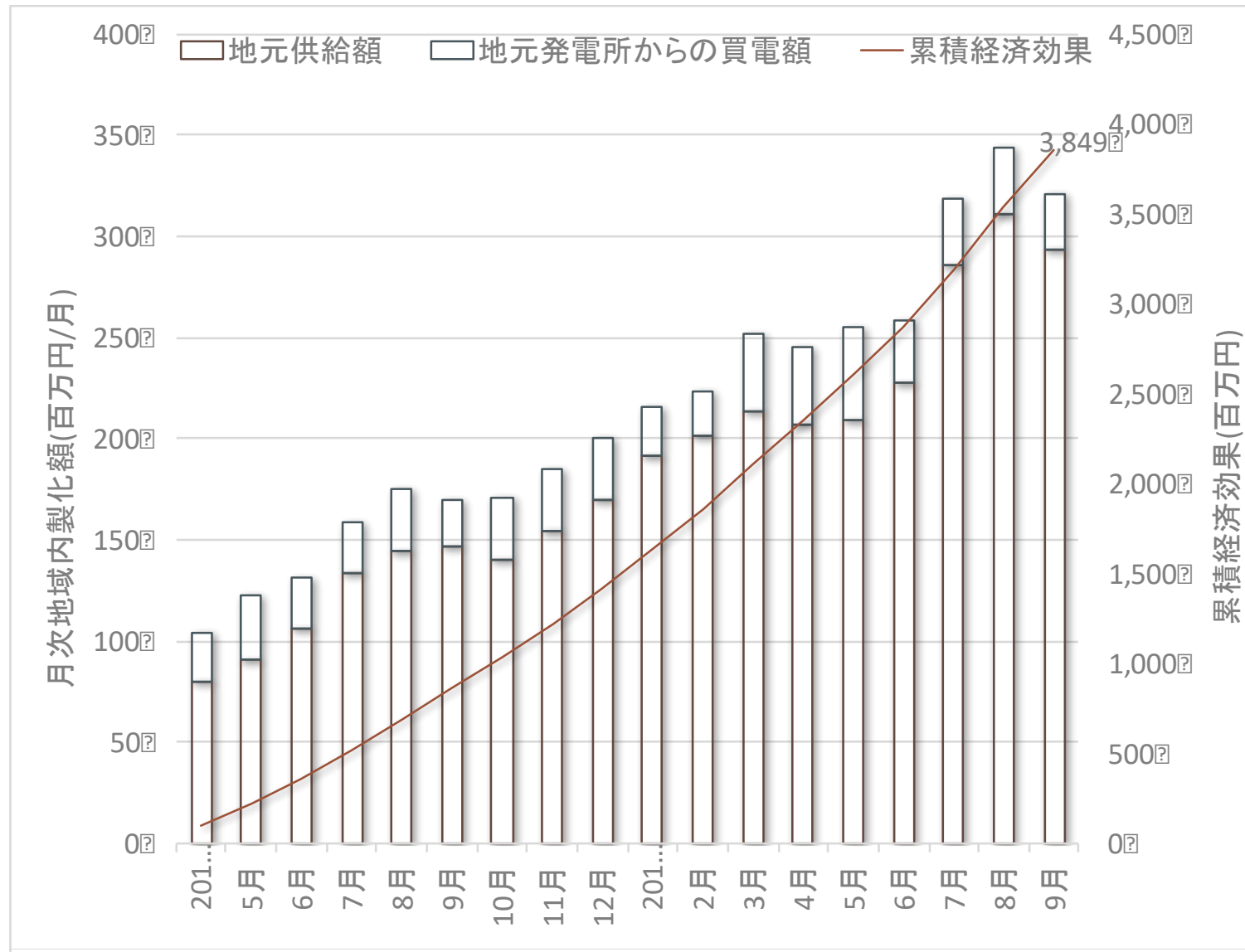
利用会員



LGD会員の事業規模(2017年9月時点)



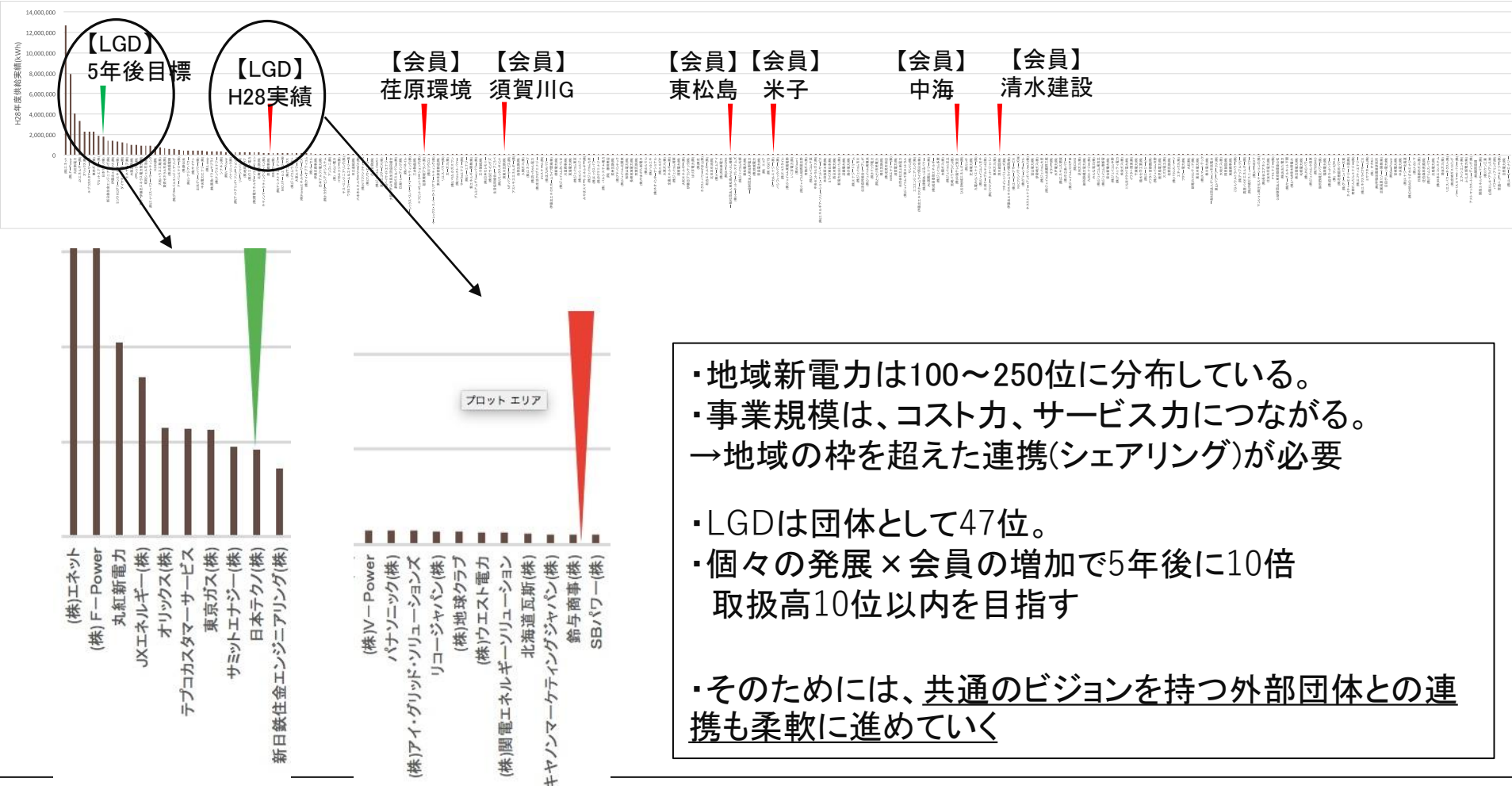
LGD会員による地域経済循環



(LGD)今後の発展:外部グループとの連携

LGDの存在目的「ローカルのグッド」を追求するため、共通のビジョンを持つ外部団体とも柔軟に連携を目指します。

旧一般電気事業者を除いたH28年度供給量(資源エネルギー庁データより)



- ・地域新電力は100～250位に分布している。
- ・事業規模は、コスト力、サービス力につながる。
→地域の枠を超えた連携(シェアリング)が必要
- ・LGDは団体として47位。
- ・個々の発展×会員の増加で5年後に10倍
取扱高10位以内を目指す
- ・そのためには、共通のビジョンを持つ外部団体との連携も柔軟に進めていく

一般社団法人 東松島みらいとし機構

既存復興支援団体の一般社団法人東松島みらいとし機構は、エネルギーソリューションと小売電気事業モデルを導入し、運営自立を図っています。



防災調整池モデルソーラー



大型蓄電池 (480kWh)



バイオディーゼル非常用発電機 (500kWh)



集会所 (防災拠点) ソーラー付 (PV9.1kW)



集合住宅15戸 (ソーラー付) (PV49.9kW)



スマートメーター

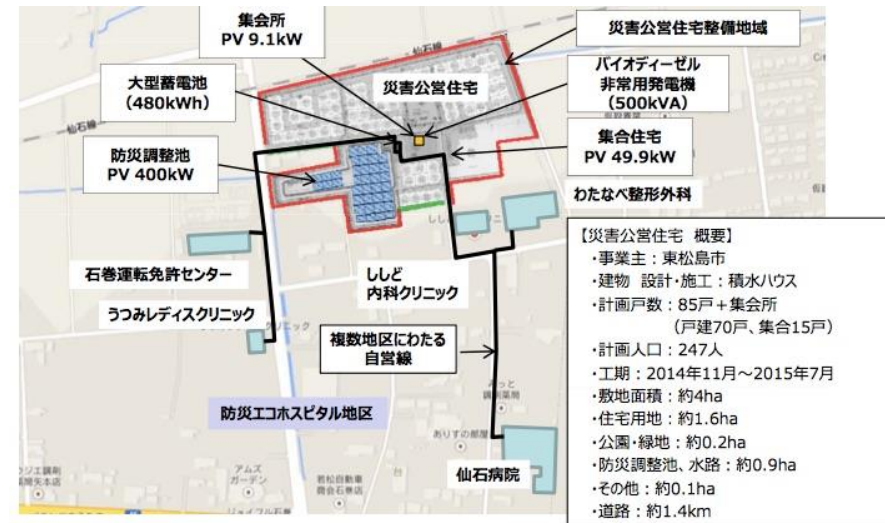
■ 一般社団法人東松島みらいとし機構

・小売電気事業

- 東松島特有の大量の太陽光発電を活用した電気供給事業
- 収益は100%復興に活用
- 行政、漁協、農協、地元企業がHOPEから安価に電力購入

・特定送配電事業(スマート防災エコタウン)

- 災害公営住宅85戸、病院4箇所、免許試験場(避難所)をマイクログリッドと再エネによる無停電化
- 蓄電池500kWh、CEMS、太陽光、マイクログリッドほか
- 市が整備し、HOPEに貸し出し(投資回収18年)



須賀川瓦斯株式会社

民間主導で地元主導でエネルギー&経済を循環する企業。再エネ投資により電源調達を内製化。LPガス、ガソリン、食料品店・酒屋、フィットネスなど地域ニーズに広く対応。



■ 須賀川瓦斯株式会社

• 小売電気事業

- 福島県内に自ら投資、設置した太陽光発電を電源として活用
- 今後も太陽光発電は多数設置予定
- 民間主導で行政へは入札等で参加

• 他事業

- LP瓦斯販売
- ガソリンスタンド
- 酒屋、食料品店
- フィットネスクラブ など

目指せ
100カ所

70カ所・累計12MW

福島県内におけるエネルギーの地産地消を目指して、
県内にソーラー発電所をぞくぞく設置中！



桜岡第三発電所 (396kW)



グリーンパーク都路発電所 (449kW)



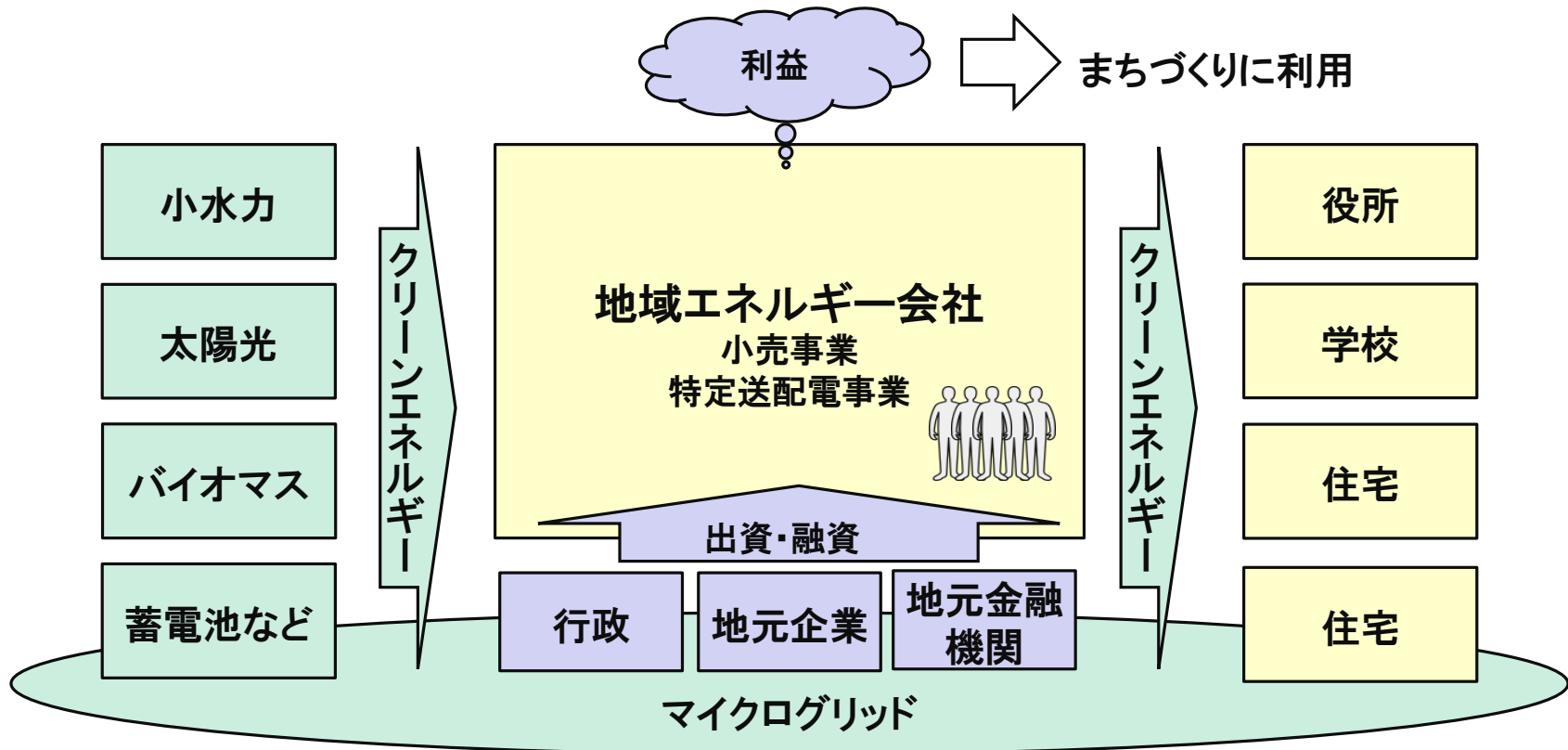
矢吹中丸発電所 (739kW)



棚倉堂ノ沢発電所 (2678kW)

再生可能エネルギー新電力の可能性

地域エネルギー会社は、地域密着の需要家発の仕組みと言える。地域が獲得できる電源は自然と、再生可能エネルギーとなる。環境、経済、社会の面で地域にGoodとなり得る。



目的・ニーズから生まれたプロジェクトは上手い
LOCAL GOOD!! 地元でもやってみては？